

# 平成29年度事業報告書

社会福祉法人しんまち元気村

花みどり寮  
特別養護老人ホーム

## ■法人理念

社会福祉法人の公的使命と、それに伴う租税免除措置の理由を把握し、地域にある多面的な福祉ニーズに積極的に応えていくこと

## ●施設ケア方針

「普通に生きる」ための「自立支援」の実現

## ●理念を実現する為に

「地域特性に合った個別ケアの完成」

「自立支援の為に理論とケア技術の追求」「介護のプロ化」

「公正な運営と情報の開示」

「職環境の整備と経営体質の強化」

「人としての本質である優しさを身につけること」

## 【総論】

平成29年度は、地域密着型特別養護老人ホームさくら寮が稼働開始となり、また関連会社の施設同時開業もあり規模の拡大とともに施設毎の機能分類が進み、利用の形という点においては選択の幅が広がったが、反面、規模の拡大に伴って各施設毎のサービスレベルの低下が懸念される状態もあった。

まさしく職員の採用難がこの懸念の主因であり、介護に向き合う真摯な姿勢という点において、開設当初と現在では全く異質の職員を相手に現場運営を強いられることに大きな課題がある。

最近の就労希望者の多くは自己の処遇だけが最優先で、その他ストレスと感ずるものが少々でもあれば早速退職という具合で、相手のことを慮るという姿勢など微塵もない者が多い。にも拘わらず、採用難の時代では、このような一昔前では絶対に採用しなかった者でも数合わせで採用せざるを得なくなっており、必然的に現場のサービス提供レベルの低下は推して知るべしである。

平成28年度から、この職員採用難に起因する問題と、事業所乱立による待機者減少が今後の施設運営の最大の警戒要因であると述べてきたが、さらにそのリスクは強まっている。

平成29年度においては、そのことの再認識と、対策としての「介護品質の向上」が急務ではあったが、施設開業からとりあえずのソフトランディングまでに多くを傾注したため、課題に対する対応まで十分に果たした状況ではなかったと総括できる。

今後も同様の課題が大きく立ちはだかる。

## ■【法人本部事業計画の執行状況について】

平成29年度事業計画	同 執行状況
<b>■社会福祉法の改正に伴う様々な対応について</b> A 評議員選任・解任委員会の設置と選任 B 同委員会による、新評議員の選任 C 定時評議員会の開催と、評議員会における理事監事の選任 D 運営協議会の設置と、委員の選任 E 社会福祉充実残額の対応・情報公開手続き対応その他	概ね事業計画の通りの改善が執行されていると判断できる。
<b>■介護保険制度改正について</b> A 平成29年度介護報酬改定(介護職員処遇改善加算の変更)への対応 B 平成30年度介護・医療同時報酬改定に対する情報収集と事前対策	概ね事業計画の通りの改善が執行されていると判断できる。
<b>■地域貢献事業</b>	総合福祉相談室の機能については、群馬県社

<p>A 「総合福祉相談室」の実態的な稼働を図り、高齢者福祉のみならず相談対象を拡大する。福祉相談室のサテライトとして「さくら寮」エリアを活用し、定期的に高齢者向け「介護・健康」相談を開催する。この相談についてはカフェを利用することも検討し、認知症カフェの機能に繋げる。</p> <p>B 運営協議会を中心とした地域ネットワークの構築を推進しニーズの分析を行う。</p> <p>C ネット・SNSの活用と展開、広報活動の強化</p> <p>D その他必要な事業と計画</p>	<p>会福祉協議会の取り纏めによる、各社会福祉法人の相乗り化計画が進められている為、今年度の推進は凍結したが、「さくら寮」エリアを中心とした地域貢献事業は多数の実施を行った。「介護・健康」相談は一回開催し、現状定期的開催とはなっていないが、実態ニーズとやや乖離があったので計画は再見直しの必要がある。運営協議会・ネット・SNS等の手法については実施したが、目的の強化までは達成できていない。</p>
<p><b>■介護品質の向上</b></p> <p>A 利用者・家族等とのコミュニケーションの強化</p> <p>B 職員研修の強化</p> <p>C 環境美化や清潔</p> <p>D 医療供給体制の整理と強化</p>	<p>Aについては現場職員の全てに広げられておらず課題を残した。Bについては平成30年度に実施する計画が整えられた。Cについては未達成。翌年度でも課題となる事項である。Dは新規嘱託医師契約の合意に達した。平成30年度より、嘱託医師2名体制、認知症対策医師1名の、月次関与医師3名体制が実現する。</p>
<p><b>■人事採用について</b></p> <p>A 新規学卒採用対策に対する資金配分の増額、中途採用に関する事業者の活用</p> <p>B 現職員の定着管理の強化</p> <p>C 統括本部における人事セクションの設置と常勤スタッフの配備</p> <p>D 介護職員等養成機関等との連携強化</p> <p>E 地域ニーズを組み込んだ雇用の流動化対策、ボランティア受け入れ等の促進</p>	<p>計画に則って資金増額と事業者活用を図ったがどちらも即効性はなかった。特に久方ぶりに紹介派遣業者を利用して見たが、登録者の低レベルぶりは酷い一言。定着率は良好な数字を示したが、人事担当の常勤職の増員などは次年度に持ち越した。養成機関や学校等との連携も模索はするものの、それらの機関自体が在籍生徒数の激減を招いており、単純な連携模索だけでは上手くいかない実態が浮かび上がった。短時間パートのような地域の就労希望に沿った非常勤職員の確保は進んだが、ボランティアの受け入れは進捗しなかった。本当に厳しい現実と直面した年度。</p>
<p><b>■財務基盤の安定と強化</b></p> <p>A 徹底した経費削減の推進</p> <p>B 施設稼働率の維持と引き上げ</p> <p>C 在宅系サービスの利用率向上</p> <p>D 人員配置体制の見直し等</p>	<p>経費削減は可能な限り実施された。施設稼働率については、昨年度に引き続き特養が入院・死去等の事由により落ち込みが目立ち、平成27年度の水準に復調していない。短期入所は比較的稼働率は良好であるが、特養の稼働率低下を全てカバーし切れていない。</p>

	通所介護・居宅介護支援・高齢者あんしんセンターはいずれも良好な伸び率を示した。
<b>■施設等整備計画</b> A 地域密着型特別養護老人ホームさくら寮の施設整備完了と安定的運営 B 既存施設における「介護品質」の引き上げに資する改修・修繕・補修等の実施 C 老朽化車両及び備品等に対する対策の実施	さくら寮は稼働開始後、翌月に満床状態を達成、想定より早い日数で達成したが、その後は本体施設同様、死去や入院等が発生しており、平成29年度末ではやや稼働率が低下傾向のため、安定的稼働率達成の努力が必要である。改修・補修等、車両対策は細かい部分は実施されたが、抜本的対策は計画・費用対策等に手間取り、実施は平成30年度に行われることとなった。

■役員構成

平成30年4月1日現在

理事長	三島久美子	理事	瀧上賢一
常務理事(法人本部長)	八木秀明	理事	深井尚武
理事	福田佳広	監事	久保田洋平
理事(施設長)	萩原好	監事	高橋正人

■評議員

原田節子	野口智樹	相楽茂	宮澤哲哉
町田郁子	吉田優	加藤雄次	

■評議員選任・解任委員会委員

委員長	渡辺君子
委員	八木大輔
委員	温井妙子

■法人本部事務局

事務局所在地	高崎市新町1863		
法人本部長兼事務局長	八木秀明		
経営計画室長	八木大輔		
秘書課	温井妙子		
経営計画室	滝沢愛・黛尚・大島雪峰		

■運営事業所

事業所名	定員	所在地	管理者
特別養護老人ホーム花みづき寮	60	高崎市新町1863	萩原好

同併設ショート・はなれ	15	同上 一部 1909	同上
地域密着型特別養護老人ホームさくら寮	29	高崎市新町 1830-1	同上
デイサービスセンター花みづき	57	高崎市新町 1863	安藤美佐子
居宅介護支援事業所花みづき		同上	新井正美
高崎市地域包括支援センター(地域型) 高齢者あんしんセンター新町南 高齢者あんしんセンター倉賀野		高崎市新町 1863 高崎市倉賀野町 1628	小川みゆき
在宅介護支援センター花みづき (総合福祉相談室花みづき)		高崎市新町 1863 在支業務は停止	本部長兼務
附設託児所「路加ハウス」		藤岡市岡之郷 684-6	温井妙子
高崎市新町福祉作業所そよかぜ	20	高崎市新町 729-3	富田 隆

■その他苦情受付第三者委員その他(法人共通)

苦情受付第三者委員	福田佳広	高崎市新町 1 5 4 7 - 8
苦情受付第三者委員	空席	
入居判定第三者委員	杉本行弘	高崎市新町 2 0 4 9 - 5
嘱託医	富澤隆興	前橋市石倉町 2 - 7 - 4 富沢内科
協力歯科医	深井尚武	高崎市新町 8 6 - 1 深井歯科医院
嘱託医・産業医	小屋智子	高崎市新町 2 1 3 6 - 6 野中医院
認知症対策顧問医	大堀重法	新座市東北 2-30-16 細田ビル 6F あいクリニック

■会議の開催・理事会

開催年月日	出席数	定数	議 題	欠席者
H29. 5. 30	6人	6人	① 平成 28 年度事業報告について ② 平成 28 年度収支決算について ③ 監査報告 ④ 正職員人事について ⑤ 借入金について ⑥ その他の件	
H29. 6. 27	6人	6人	① 理事長・常務理事の選任について ② 繋ぎ資金の借入について	
H29. 8. 18	6人	6人	① 定款変更について ② 託児所の移転について ③ 評議員会の開催について ④ 正職員人事について ⑤ その他の件	

H29. 12. 25	6人	6人	① 収支補正予算原案について ② 定款施行細則の改正について ③ 経理規程の改正について ④ 正職員人事について ⑤ その他の件	
H30. 1. 4	6人	6人	① 定款変更について ② 正職員人事について	
H30. 3. 20	6人	6人	① 平成 29 年度収支補正予算の件 ② 平成 30 年度事業計画案の件 ③ 平成 30 年度収支予算案の件 ④ 給与規程の変更について ⑤ 正職員人事について ⑥ 評議員会の招集について ⑦ その他の件	

■評議員会

開催年月日	出席数	定数	議 題	欠席者
H29. 6. 20	7人	7人	① 平成 28 年度収支決算について ② 役員等報酬規程について ③ 理事・監事の選任について ④ その他の件	
H29. 8. 25	7人	7人	① 定款の変更について	
H30. 1. 13	5人	7人	① 定款変更について	原田節子 相楽 茂
H30. 3. 30	7人	7人	① 平成 29 年度収支補正予算について ② 平成 30 年度事業計画案について ③ 平成 30 年度収支予算案について	

■その他の会議開催

管理職等会議      リーダー会議      入居等判定会議      その他多数

■外部アドバイザーの活用

生活介護研究所 加藤 慶氏  
 学校法人未来学園講師 菊地圭子氏  
 CLC 武田和典氏

■顧問契約

税理士	小野朝嗣	伊勢崎市西久保町 46-12
社会保険労務士	鈴木正人	伊勢崎市宮子町 3634-3

■台湾友好協力提携先

1	中華民国衛生福利部東区老人之家（花蓮市）
2	財団法人雲林縣同仁仁愛之家及び社団法人雲林縣老人福利保護協會（斗六市）
3	弘光科技大學（台中市）

■職員研修の実施状況

別紙(次頁)

尚、各事業所の運営については、事業所毎の報告書を参照されたい